

広がりをもせる県内大学の学部新設・再編等の動き ～期待される大学の魅力向上と地域活力の維持～

大学進学に伴う流出超過数は拡大傾向

広島県では近年、20代の若年層を中心に就職や転職など仕事を理由とした社会流出が続いていますが、大学進学を契機とした流出超過も拡大傾向にあります。

文部科学省の「学校基本調査」によれば、県外大学に進学する県内高校卒業者が7千人前後で横這い推移する一方、県内大学に進学する県外高校卒業者の減少が続いており、その結果、2024年度の流出超過数は2千人を超え、コロナ禍前の2倍近くに増加しています（図表1）。

県内流入の中心である近隣県の少子化の加速のほか、学生が将来のキャリアを見据えて希望する学問領域と、大学が設置している学部や学科にミスマッチが生じていることが要因の一つとして挙げられます。

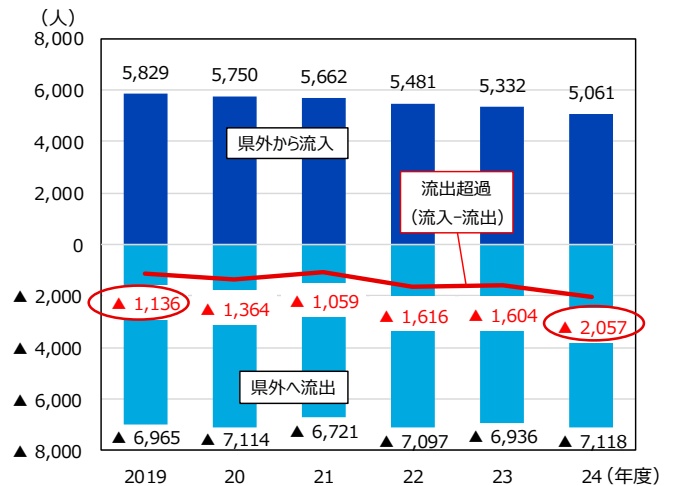
広がる大学の学部新設・再編等の動き

こうした中、文部科学省は2023年度から、①高度情報専門人材の確保に向けた機能強化と②学部再編等による特定成長分野（デジタル・グリーン等）への転換等を助成金などで支援する「大学・高専機能強化支援事業」を実施しており、県内においても同事業の採択を受け、理工系有望分野の人材輩出に向けて取り組む動きが広がっています。

例えば、広島大学が2023年度より大学・大学院の情報系定員の増員や「半導体システムプログラム」など新しいプログラムの導入等を進めているほか、今年4月には安田女子大学が理工学部を、広島工業大学が情報学部情報システム学科などを新設しています（図表2・3）。

こうした改革への積極的な取り組みにより県内大学の魅力が一段と高まって、県内外から将来を担う若い人材が集まることにつながり、長期的には、優秀な人材の育成・輩出と産学連携等を通じて、地域の既存産業の成長や新たな産業の創出、さらには産業構造の転換が進展し、経済・社会の活力維持・向上の一助となることが期待されます。

図表1 高校卒業者の大学進学に伴う流出入数の推移



（資料）文部科学省「学校基本調査」よりひろぎんHD経済産業調査部作成

図表2 広島大学の高度情報専門人材の育成強化

区分	時期	取組内容
大学	2023～ 2025	情報科学部の定員を増員
		工学部半導体システムプログラムを新設
大学院	2027～	DX科学プログラムの新設
	2027～	博士前期の情報系の定員を189人増員
	2029～	半導体システムプログラムの新設
	2029～	博士後期の情報系の定員を20人増員
その他		・企業との大学院特定プログラム共同開発
		・企業と連携した社会人リスキルプログラム
		・情報教育プログラムの外部展開

（資料）図表2・3ともに、文部科学省資料、各大学ウェブサイトよりひろぎんHD経済産業調査部作成

図表3 県内大学の主な学部・学科新設の動き

設立(予定)時期	大学名	新設学部（学科）名
2025.4	安田女子大学	理工学部を新設（生物化学科、情報科学科、建築学科）
2025.4	広島工業大学	情報学部（情報システム学科、情報マネジメント学科を新設）
2026.4	県立広島大学	地域創生学部（情報学科を新設）
2027.4	福山市立大学	情報工学部を新設（情報工学科）
2027.4	広島修道大学	農学部（仮称）を新設

品質向上のため
アンケートにご協力ください。



PCの方は
[コチラを
クリック](#)

※ ナインアウト株式会社が提供する
アンケートサイトへ遷移します。

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家に相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：松本（TEL082-247-4958）までお願いします。